

#3_Ceramic Artist

Joe and
Cristiana Skoby
La Jolla, San Diego County,



1930年代に建てられたこの家は、特に大きなノベーションもされず、ダークウッドのウォールやシーリング、30年代ならではのオレンジタイルのフロアなどもそのままの状態に残されている。古き良きアメリカンファームの様な温かみのある色合いがとても気に入り、ジョーとクリスティアナは、大好きなアンティークアイテムなどを使って、インテリアも統一

**DISCOVER
NEW LIFE
SPACE**
#3_Ceramic Artist

今から15年前、サンディエゴ市内の大学への進学をきっかけに、知人からラホヤの街を勧められ、ジョーは引っ越してきた。それ以来1度も、ここを出ようと思ったことはないという。市内で何度か引越しを繰り返したが、現在のこの素敵な家に落ち着いてからすでに約3年が経つ。一方、イタリアのファッション業界で働いていた奥様のクリスティアナは、生活のペースを落としたいと考え、新しい場所を求め旅行に訪れた際、2人は運命的に出会い、その後結婚。趣味のサーフィンを続けながら仕事をしたいと考えていたジョーの想い

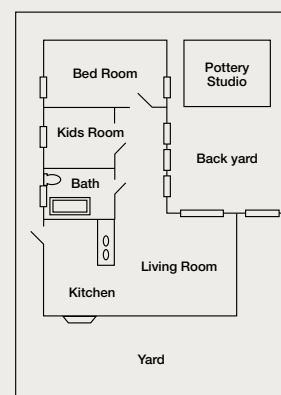


Life is always a choice. Ask yourself and live the life you want.

青い海と高い空、そしてパームツリー
スローライフを選ぶという生き方

大きな海と低層でゆったりとデザインされた邸宅が並ぶ中、
緑に囲まれたこの辺りでは珍しいコンパクトなサイズのお家。
サーファーであり陶器デザイナーとしても活躍するジョー一家はここで暮らす。

Text & Photos / Kaoru Inagawa
www.skobyjoe.com Instagram : skobyjoe



FLOOR-PLAN



#3_Ceramic Artist

Joe and
Cristiana Skoby
La Jolla, San Diego County,



**DISCOVER
NEW LIFE
SPACE** 
#3_Ceramic Artist



もあり、2人のそれぞれの願いを完璧に叶えてくれる場所こそがここだった。

大家さんの理解も在り、バックヤードに陶器のスタジオも造設した。ジョー曰く、高校の頃、趣味として始めた陶芸がまさか仕事になるとは想像していなかったとのことだ。現在ではクリスティアナがマーケティングを担当し、インターネットでの販売も始めて、ニューヨークや東京のショップでも

取り扱われるなど、確実に成長を遂げている。「青い空を眺めながら観葉植物に囲まれていると、自然にインスピレーションが湧いてくる」。子供達がヤードで駆け回る声を遠音に、スタジオで陶器作りに没頭する時間が何よりも楽しみだと話す。サンディエゴエリアの中でも、元来高級住宅が建ち並び、さらに地価が上がり続ける中で、手頃な物件を見つけることは年々難しくなっている。「広い家が多いため、2ベッドルームで庭付きという条件で探すのは大変だった。やっと見つかった素晴らしい家だから、ここに長く住みたいんだ」。ゆっくりと時が流れるオーシャンライフ、ここで子供の成長を見届けたいと、今2人は願っている。